

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 18日

中施策事業名	家庭児童相談室事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	01 子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない		
②大施策	子ども高齢者障がい者等への虐待やDV等を減らす		
③中施策	家族等、子ども、高齢者、障がい者等を支援する人の日常生活に関する悩みや不安を解消する		
④中施策事業の対象	児童及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	日常生活に関する悩みや不安を解消する場があることを知っており、それを活用することにより、地域での孤立や問題の重篤化を予防できている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・家庭児童相談室事業 ・サポートブック事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
家庭相談室の相談 件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	2,600	2,700	2,700	2,700	0	0
	実績値	3,940	3,109				
単位	件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				2,361千円	3,166千円		
	a 事業費合計			2,361千円	3,166千円	5,066千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				514千円	1,420千円
③ コスト (①－②)				1,847千円	1,746千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				27 円	25 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 評価指標の実績は前年度に引き続き目標値を上回った。相談件数は非行相談が増加したが、他の相談については減少した。重層的支援体制の整備等により関係機関と役割分担を行い、協力して課題解決に取り組んだ結果、家庭相談室の相談件数としては減少したものと考えられる。また、相談の質を向上させるため、ケース会議等を通して関係機関と情報交換を行った。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和6年度より、こども家庭センターの設置に伴い家庭相談員を増員したため、複雑な課題、多数の課題を抱えている家庭に対し、課題全体をとらえた支援を行えるよう、重層支援センター等と協力し多面的な支援が行える体制を整備する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	地域における子育て世帯の孤立を防止するため、関係機関と地域における見守り体制について協議する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 6日

中施策事業名	児童虐待・DV対策事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	01 子ども、高齢者、障がい者等への虐待やDVなどがない		
②大施策	子ども高齢者障がい者等への虐待やDV等を減らす		
③中施策	関係機関と連携して早期発見と素早い対応に努める		
④中施策事業の対象	- 要保護児童及びその家族、関係者等 - DV被害者及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	市民や関係機関が虐待やDVについての知識を持ち、必要な時に通報や連携支援を行うことにより、対象が早期に必要な支援を受けることができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	- 要保護児童対策地域協議会 - DV相談事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
要保護児童対策地域協議会の管理家庭数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	70	70	70	0	0
	実績値	76	40				
	単位 件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				4, 474千円	7, 143千円	
	a 事業費合計			4, 474千円	7, 143千円	11, 605千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				1, 027千円	2, 840千円	5, 514千円
③ コスト (①－②)				3, 447千円	4, 303千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				50 円	63 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 要保護児童対策地域協議会で見守る家庭の数は前年度に比べ減少した。これは、複合化する傾向にある家庭の課題に対して、深刻化する前に複数の関係機関で情報共有し解決を図ったためと考える。また、児童虐待を発見した際の早期通告の促進や児童虐待に至る前の相談の勧奨、児童自身の相談のしやすさの向上を図るため市ホームページの記載を一新した。家庭相談員の配置数が、令和4年度は1名欠員があり2名であったが、令和5年度は3名となり、コストは増加した。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和6年度より、こども家庭センターの設置に伴い家庭相談員を増員したため、児童虐待の予防、再発防止のため、児童及びその保護者と協働して解決すべき目標等を記載したサポートプランの作成を通して、家庭の課題の解決を充実させる。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	児童虐待家庭が地域で孤立することに伴う虐待の発見の遅れや深刻化を防ぐため、関係機関・地域における見守りを強化する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 15日

中施策事業名	児童扶養手当給付事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	家族を支援するサービスを充実させる		
④中施策事業の対象	ひとり親家庭の児童及び保護者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	支援をもれなく受けることにより、経済的負担が軽減し、安定した生活を送ることができている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 児童扶養手当 ・ 愛知県遺児手当・豊明市遺児手当		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
現況届回収率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	99.7	99.8	99.8	99.8	0	0
	実績値	99.5	98.3				
単位	%						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				188, 728千円	184, 838千円		
	a 事業費合計			188, 728千円	184, 838千円	184, 640千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				56, 847千円	56, 198千円
③ コスト (①－②)				131, 881千円	128, 640千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 916 円	1, 869 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 現況届の回収率は若干減少したが、例年どおり 8 月の一か月間、来庁を原則として対象家庭の状況を対面により直接聞き取ることで、より確実に把握することができた。また、随時手当の申請等の手続きの中で、ひとり親になられたばかりの親御さんの困りごとや悩みごとにも傾聴し、寄り添いながら相談を実施し、必要な支援につないだ。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	児童扶養手当制度の改正により、令和 7 年 1 月に支給する分から要件を緩和し、満額を受け取れる年収の上限を 1 6 0 万円未満から 1 9 0 万円未満に、所得に応じて減額して支給が受けられる年収の上限を 3 6 5 万円未満から 3 8 5 万円未満に、それぞれ引き上げる。これに伴い、対象者への周知を徹底し、もれなく支給ができるようにする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	引き続き、国等の動向に注力しながら、手当による経済支援のみならず、ひとり親家庭の個々の状況に応じた、複合的な支援を継続していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 10月 29日

中施策事業名	ひとり親支援施策事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	16 支援が必要な人の家族の負担が軽減され、日常生活で困ってない		
②大施策	支援が必要な家族の負担を軽減する		
③中施策	多様な主体者が連携し、家族を支える環境をつくる		
④中施策事業の対象	ひとり親家庭の児童及び保護者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	安定した就労や日常生活に関する支援を受けることにより自立した生活が送れるようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 自立支援相談事業 ・ 母子自立支援給付金事業 ・ 母子日常生活支援事業 ・ 母子家庭等児童入学記念品事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
ひとり親家庭の相談支援件数（実件数）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	40	45	45	45	0	0
	実績値	41	45				
	単位 件						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				7, 016千円	6, 484千円	
人 件 費	a 事業費合計			7, 016千円	6, 484千円	7, 747千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				5, 399千円	4, 588千円	3, 731千円
③ コスト（①－②）				1, 617千円	1, 896千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				23 円	28 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A ひとり親家庭の相談件数として計上している以上に、窓口での児童扶養手当の申請等のやり取りの中でも、ひとり親になられた親御さんの困りごとや悩みごとに対しても、丁寧に寄り添いながら対応したことで、めざすまちの姿の実現に寄与することができたと考える。また、様々な課題を抱えるひとり親家庭に対して、日常生活支援事業を活用して、自立に向けての支援を開始することができた。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	これまで地域福祉課が困窮世帯を対象に実施してきた子どもの生活・学習支援事業を今年度より児童扶養手当受給者も対象とし、当課も事業の主体者として、委託事業者とともにひとり親家庭の支援に努めるとともに、子どもたちに学習の機会や居場所を提供する。また、ハローワークとの協定に基づき、引き続き連携を図り、ひとり親家庭の自立に向けて、より効果的な就業支援を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	ひとり親家庭への支援施策は、生活支援・就業支援・経済的支援など他分野にわたり、相互に関連するため、個々のニーズに応じた複雑な組み合わせが必要となる。引き続き、ひとり親家庭の多様なニーズをキャッチし、今年度より組織された重層支援センターを含めた多様な主体者へ適切につないでいく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 15日

中施策事業名	児童館管理運営事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる		
④中施策事業の対象	児童及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	児童館を拠点とした子育て支援事業や地域との連携した事業により、地域ぐるみの子育てができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 児童館の維持管理・運営事業 ・ 児童館の指定管理事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
児童館利用者アンケートにおける満足度の割合	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	100	95.6				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				125, 534千円	121, 570千円	
	a 事業費合計			125, 534千円	121, 570千円	225, 703千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	24, 162千円
③ コスト (①－②)				125, 534千円	121, 570千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 824 円	1, 767 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 児童館利用者アンケートにおける満足度は若干低下したが、安心して子育ての悩みを聞いてもらえたり、子どもとの関わり方について教えてもらえたりすることに満足する親御さんの声が多かったことから、児童館が毎日子育てに奮闘する親御さんの居場所になれているものとする。コロナ禍に減少した利用者数も、徐々に戻りつつあり、その多くは幼児親子と小学生で、身近な居場所や地域との交流の場となっている。中高生の利用は少ないままであり、今後中高生の居場所づくりについても検討する必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	全ての子どもとその保護者に寄り添い続け、『こどもをまんやかに据えた児童館』を目指して、それぞれの児童館の役割毎、地域毎での特徴を活かすことができるような仕様を策定し、令和7年度からの指定管理者を決める公募型プロポーザルを実施する。また、大規模改修工事に併せてひまわり児童館に子育て支援センター的機能を強化することで、南部地区の子育て支援拠点として整備する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	新たな事業者とともに、より一層効率的かつ効果的な管理運営を図り、遊びや生活場面でのコミュニケーション等を通じて、子どもやその保護者に寄り添いながら支援する。また、地域の子どもたちの居場所として、それぞれの児童館の役割毎、地域毎での特徴を活かした子どもたちが「居たい」「行きたい」「やってみたい」と思えるような居場所づくりに努める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 4月 15日

中施策事業名	児童福祉地域活動事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる		
④中施策事業の対象	児童及びその家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域が主体となった子育て支援事業や地域との連携した事業により、地域ぐるみの子育てができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	- 民生児童委員事業 - 児童遊園地設置費等補助事業 - 子ども会活動費補助事業 - 地域組織育成費補助事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
補助団体で活動する人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	180	185	185	185	0	0
	実績値	170	176				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				6,790千円	6,435千円	
	a 事業費合計			6,790千円	6,435千円	7,479千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円
③ コスト (①－②)				6,790千円	6,435千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				99 円	94 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 区や町内会が管理する児童遊園地の遊具等の修繕費等への補助を行ったほか、遊具点検結果により使用禁止となった危険な遊具については撤去することができた。また、子ども会連絡協議会への事業費・運営費の補助、共生交流プラザ等で活動する母親クラブへの補助など地域活動への支援を通じて、補助団体で活動する人数も徐々に増え、地域が主体的に子育て支援事業を行う環境づくりができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	児童遊園地の遊具等の劣化が年々進行しているため、今年度より規準点検も追加して実施する。より安全なあそび場を確保するため、危険な遊具等については、引き続き管理者と協議しながら、修繕や撤去など適切な管理を促す。その他、引き続き地域活動を支援することで、地域ぐるみでの子育て環境を確保していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	全国的に核家族化による孤独・孤立への不安が増大するとともに、地域のつながりも希薄化しているのが現状である。民生児童委員や地域活動団体等と適切に連携し、地域が主体となって子育てを支え、子どもたちを見守る環境をつくることができるよう、継続的に支援していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 20日

中施策事業名	子育て支援センター事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	家庭や地域が子どもを大切に思い、支え合うことができるまちを醸成する		
④中施策事業の対象	児童のいる家族、関係者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	子育て支援センターを拠点とした子育て支援事業や相談事業により、子どもとその家族が安心して楽しく子育てができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・子育て支援センター事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
年間利用人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	17,000	17,000	20,000	20,000	0	0
	実績値	27,879	29,524				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				14, 065千円	15, 658千円	
	a 事業費合計			14, 065千円	15, 658千円	16, 510千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				6, 480千円	11, 593千円	12, 173千円
③ コスト (①－②)				7, 585千円	4, 065千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				110 円	59 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 子育て支援センターたけのこはカラット内に開所して2年目となり、利用者のニーズに合わせて定例催事を増やし、好評を得ている。 コスト面では、利用者支援型の子育て支援員を配置することで国の補助金の増額を図り、コストを縮減。 利用者に寄り添い、必要に応じて関係機関と連携し中施策事業の実現を図っている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	定例催事については、男性の育児休暇取得が進み父親の利用が増えてきているため、父親向け事業を展開し、家族全体の支援とともに父親が孤立しない取り組みを行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	支援が届いていない人に支援を届けるため、関係機関と連携しアウトリーチを行い、継続的な伴走支援を行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 12日

中施策事業名	妊娠出産子育てワンストップ事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	家庭や地域が子どもを大切に思い、支え合うことができるまちを醸成する		
④中施策事業の対象	妊娠期から就学前までの子どもとその親 乳幼児～小学生のいる家庭		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	妊娠期より心配なことがあれば相談することができ、安心して子育てでき、子どものいる親が安心して働くことができています		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	ネウボラ推進（情報発信、支援プラン、ファミサポ、産後ケア事業・養育支援訪問、関係機関との協議会）、家庭訪問		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
支援プラン作成件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	50	50	50	50	0	0
	実績値	51	53				
単位	延件数						
ふあみさぽ利用件数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	0	0
	実績値	3,014	3,407				
単位	延件数						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				155, 234千円	171, 011千円	
	a 事業費合計			155, 234千円	171, 011千円	183, 567千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				50, 852千円	68, 433千円	73, 426千円
③ コスト (①－②)				104, 382千円	102, 578千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 517 円	1, 491 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 妊娠期からの切れ目のない支援を実施するため、母子手帳交付時に全ての妊婦に保健師等専門職が面接し、ひとり一人の状況に合わせた支援を行い、必要に応じ関係機関と連携した支援を実施。伴走型支援と一体的に経済的支援も行い、支援の充実を図っている。支援プラン、ふあみさぽ利用件数ともに件数が増えており、対象者に合わせた支援が展開できていると分析する。コスト面については、国や県の補助金を活用できるよう体制を整え、コスト縮減に努めている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	産後ケア事業を充実し、産後に安心して子育てができる環境を更に整備し、育児困難感を早期に解消しスムーズな愛着形成を図る。また、低所得妊婦の初回参加受診料を補助し、妊娠初期からのサポートを充実させる。市域全体に対しては、子どもと子育て家庭への深い理解を促し温かい地域づくりの機運を醸成するため、市内事業所に子連れ出勤普及啓発事業を委託し推進する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	「こども家庭センター」として、子ども家庭相談係との一体的支援を行うため、情報や認識の共有を更に促進し連携を強化する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 18日

中施策事業名	児童手当給付事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	ゆとりを持って男女共に子育てを楽しむことができるよう応援する		
④中施策事業の対象	児童及びその家族等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	支援をもれなく受けることにより、経済的負担が軽減し、ゆとりある生活が送れるようになっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 児童手当給付事業 ・ 特別児童扶養手当給付事業 ・ その他臨時特別給付事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
現況届回収率	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	93.3	88.9				
単位	%						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				1, 341, 787千円	1, 188, 415千円	
	a 事業費合計			1, 341, 787千円	1, 188, 415千円	1, 239, 886千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				1, 032, 107千円	928, 327千円	1, 050, 178千円
③ コスト (①－②)				309, 680千円	260, 088千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				4, 500 円	3, 779 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 児童手当の現況届が原則不要となり、要届出対象者 9 名のうち外国籍の方 1 名が 2 年以上未提出となり時効消滅となったが、その他の世帯にはもれなく児童手当の支給ができています。また、物価高騰等の影響を受ける子育て世帯に対して、子育て世帯生活支援特別給付金（国制度）のみならず、小中学生応援給付金（市独自制度）を支給したことで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、ゆとりある生活が送れるように支援することができた。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	児童手当制度の改正に伴い、令和 6 年 1 0 月分より所得制限がなくなり、支給対象年齢も 1 8 歳まで引き上げられ、支給額も第 3 子以降は 3 万円に増額される。制度改正により、対象者が拡大するため、対象者を抽出し、申請勧奨の案内を送付するなどの周知に努め、もれなく支給できるようにする。また、制度改正に伴うシステム改修を行い、適正に管理できるようにする。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	国が掲げる異次元の少子化対策として児童手当を中心に、経済的支援が強化されていく中で、今後加速化して取り組む子ども・子育て政策の動向や子育て世代のニーズを把握し、真に必要なとされる子育て世帯への支援について検討・調整し、子どもを安心して産み育てられるまちづくりに貢献する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 12月 12日

中施策事業名	子ども子育て計画事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	ゆとりを持って男女共に子育てを楽しむことができるよう応援する		
④中施策事業の対象	子ども、子育てに携わる人		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	次世代を担う子どもたちが安心して生き生きと健やかに成長し、子どもを安心して生み育てられ、子育てするなら豊明市と思われるまちになっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・子ども子育て支援事業計画策定・進行管理 ・子ども・子育て会議		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
計画中に対象となる子どもの受入体制が維持できていない事業数（全13事業中）	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位	事業					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和04年度	令和05年度	令和06年度	
① 総事業費 (a+b)				65千円	2, 180千円		
	a 事業費合計			65千円	2, 180千円	3, 309千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
		人件費合計			0千円	0千円	
		② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				65千円	2, 180千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1 円	32 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、ニーズ調査業務を委託し、未就学児の保護者1,500世帯と小学生の保護者1,500世帯を無作為抽出した上で、アンケート調査を実施した。今回の調査では、小学生のお子さんが直接回答する設問を設けて、子どもの意見も聴取できるように工夫した。委託先をプロポーザルで公募したが、応募者がなく、指名競争入札に切り替えた結果、コストを縮減して実施することができたが、スケジュール的に分析業務を次年度に繰り越すこととなったため、若干後ろ倒しになっている。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	未就学児の保護者1,500世帯のうち768世帯（回収率51.2%）、小学生の保護者1,500世帯のうち725世帯（回収率48.3%）からのアンケート調査の結果を基に、分析を含めた計画策定業務を公募型プロポーザルにて委託をして、実績値の把握、実績値と量の見込みとの比較、要因分析等を実施し、子ども・子育て会議での協議やパブコメを経て、第3期子ども・子育て支援事業計画を策定する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和6年度中に策定する第3期子ども・子育て支援事業計画に沿って、子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支援する環境を整備していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) こども計画の策定	内容、理由、時期等 こども基本法に基づく、市町村こども計画を策定する必要があるため、適切な時期に内部協議や子ども・子育て会議にて協議をしていく。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 年 月 日

中施策事業名	放課後児童健全育成事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	
①めざすまちの姿	28 子どもを産み育てやすいまちになっており、子どもの数が増えている		
②大施策	子どもを安心して産み育てられるまちをつくる		
③中施策	仕事と子育ての両立ができる環境をつくる		
④中施策事業の対象			
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)			
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)			

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
児童クラブ待機人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	5	5	5	5	0	0
	実績値	0	0				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
人 件 費	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか			
	大施策に貢献していますか			
	重点をおく指標は妥当でしたか			
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)			
	自治体が関与するのは妥当ですか			
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか			
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか			

■総合評価

上記までの評価 指標、コスト、各 項目評価の観点 からの分析	
---	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 年 月 日

中施策事業名	心身障がい児通園施設管理運営事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	30 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている		
②大施策	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばす環境をつくる		
③中施策	好きなことができるように周りの大人の理解を深め、支援できるようにする		
④中施策事業の対象	障がい児及びその家族、関係者等 (障がい児疑い含む)		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がいに応じた療育支援や相談を受けることにより、不安が解消され、将来への見通しが持てるようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	- 心身障がい児通園施設事業 - どんぐり学園入園・園医依頼・報酬支払		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
どんぐり学園年間 登録人数	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	50	50	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位	人						
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか			
	大施策に貢献していますか			
	重点をおく指標は妥当でしたか			
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)			
	自治体が関与するのは妥当ですか			
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか			
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか			

■総合評価

上記までの評価 指標、コスト、各 項目評価の観点 からの分析	
---	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項		
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項		
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和06年 6月 18日

中施策事業名	児童発達支援センター事業	部課名	健康福祉部・子育て支援課
		作成者	松村 清子
①めざすまちの姿	30 子どもの個性や感性を尊重し、伸ばしている		
②大施策	子どもの個性や感性を尊重し、伸ばす環境をつくる		
③中施策	好きなことができるように周りの大人の理解を深め、支援できるようにする		
④中施策事業の対象	障がい児及びその家族、関係者等 (障がい児疑い含む)		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	障がいに応じた療育支援や相談を受けることにより、不安が解消され、将来への見通しが持てるようになる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	- 児童発達支援事業 - 保育所等訪問支援事業 - 親子療育教室(たんぽぽ教室) - 発達評価、保育園等巡回相談事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
保護者等からの事業所評価において、各項目を達成していると回答があった割合	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	80	80	85	85	85	0
	実績値	83	82				
	単位	%					
	事業実施年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和04年度	令和05年度	令和06年度
① 総事業費(a+b)				88,512千円	144,733千円	
	a 事業費合計			88,512千円	144,733千円	95,240千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				32,793千円	38,150千円	42,513千円
③ コスト（①－②）				55,719千円	106,583千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				810 円	1,549 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	総合評価 A 保護者からの事業評価において、適切な運営にかかる評価項目を達成していると回答があった割合は82%と、目標値である80%を上回った。市独自事業であるたんぼぼ教室利用終了後、入園までの間利用できる事業としておひさまを令和5年10月より開始し、切れ目のない支援ができるよう取り組んでいる。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	障がい児の保護者の孤立の防止や情報交換を行うことができるよう、交流できる場を提供する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	障がい児の療育環境の向上を図るため、保護者等を対象とした家族支援プログラムを行う。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等